

進路模索

TELC Ultimo修了後の進路決定に向けて、今年7月にTAFE本科への進学を希望している学生を対象にTAFEのコースやキャンパス説明会およびキャンパスツアーを実施しています。来年2月にTAFE本科に入学する学生は、9月末までに進路を決定する必要があります。日ごろから自分の進路についてよく考え、後悔のないように進路を決定して欲しいと思います。



↑マーケティングについて、SSOから説明を受ける学生たち



↑入学手続きについて、SSOから説明を受ける学生

【キャンパスツアー】

キャンパスツアーでは、コース主任や実際に現在コースを受講している学生から話を聞いたり、施設を見せてもらったりして、情報収集をしました。



↑ Northern Beachesキャンパス



↑ Rydeキャンパス



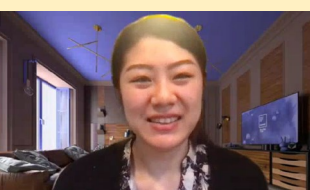
↑ St Leonardsキャンパスの映像メディアコースで使用するスタジオ施設



私は、映像メディアコースのキャンパスツアーに行きました。コース主任と留学生コーディネーターが迎えてくれて、実際の授業の様子を見せてくれました。本格的な機材を使って短編映画の撮影をしているのを見て、私も早くクラスメートと作品を作りたいと思いました。(永野あかり)

卒業生体験談

看護コースは、コース定員に達する時期が他のコースと比べて例年早いため、来年2月に看護コースへの進学を検討している15期生向けに、BGCA卒業生からビデオ通話で直接看護コースの体験談を聞く機会を設けました。



Nursing

孫 瞳 (11期生)

- ・UTS Foundation Studies / UTS College
- ・Bachelor of Nursing / University of Technology Sydney

<UTS Collegeについて>

TELC卒業後、TAFE NSWの看護学コースを受講することも考えていましたが、元々高かった同コースの英語の入学条件が入学数ヶ月前に更に厳しくなったため、UTS Collegeのファウンデーションコースを受講することに決めました。クラスメートは、ITコースなど看護コース以外に進学予定の学生もあり、全員で20人くらいで、中国人や韓国人が多かったです。皆、UTSの学士コースに進学するという同じ目標があったので、切磋琢磨し合いながら、授業を受けていました。授業では、大学進学したときの課題やレポート作成などで役立つように、学術的な英語、プレゼンテーションの作り方や発表の仕方、ExcelやPower Pointなどのパソコン操作を学びました。

<大学について>

UTSを選んだ理由は、他大学と比べて看護コースの施設が充実していたこと、看護分野での世界ランキングが上位に入っていたからです。また、留学生サポートも手厚く、

課題やレポート提出前に相談したり、内容をチェックしてもらえるサービスもあります。

1回生の1学期から、早速病院での実習があり、右も左も分からないような状態で実習に行くので、特に最初は辛いことも多かったです。しかし、指導役の看護師と一緒に患者さんの対応をするので、とても実践的で、たくさんの経験を積み重ねることが出来ます。実習先では、ただ指示を待つだけでなく、積極的に質問をしたり、意見を言ったり、患者さんと交流するように心がけています。

<その他>

大学2回生のときから、病院で看護助手としてアルバイトも始めました。コロナ禍の今は、看護師のニーズが高く、留学生でも看護助手として勤務できていることは、自分の経験にもつながるので、良かったと思います。大学を卒業して、英語の条件を達成できれば正看護師の資格を取れるので、頑張りたいと思います。



Nursing

田中 智也 (8期生)

- ・Diploma of Nursing / TAFE NSW Ultimo campus
- ・Bachelor of Nursing / University of Technology Sydney

<看護学を学ぶことを決めた理由>

父が看護師であること、人とコミュニケーションを取るのが好きなこと、生物や化学が好きなことから、看護師を目指したいと思いました。「国境なき医師団」で看護師として働くのが夢で、それなら英語で看護学を学ぶことがよいと考えました。

<TAFE本科について>

まず、TAFE NSWの看護学コースの英語条件を達成するのに苦労しました。TELC在学中の期間だけでは足りず、入学時期をずらしてIELTSの勉強に取り組みました。クラスメートは、留学生の方が少なかったです。また、日本の看護学校と比べると男性率は高い方だと思いますが、それでも半数以上が女性でした。座学では、病理生理学、薬学、生物学など、看護全般について幅広く学べたと思います。当時はコース修了までに400時間以上実習をしないと決められており、コース開始後、1ヶ月くらいで病院での実習が始まりました。実習ではいろいろな病院や病棟を経験し、たくさん苦労しましたが、学ぶこともたくさんあ

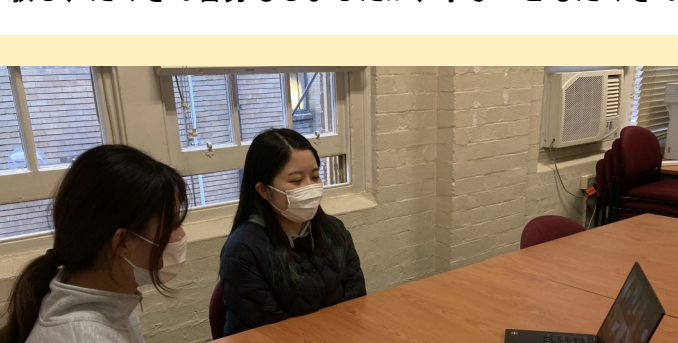
りました。また、実習は、看護が本当にしたい仕事なのかどうかを見極める機会にもなります。

<大学について>

学費、オーストラリアの看護分野でのランキングが上位であること、最先端の設備が揃っていることから、UTSに決めました。TAFE NSWで取得した単位を利用して2回生に編入できたことで、学費の節約にもなり、TAFEのときの実習経験が有利に感じることも多かったです。大学の2年間で、1,000時間程の実習をしたと思いますが、最後の方は数人の患者さんを任されていました。実習先での勤務態度などが評価されて、実習していた病院で准看護師として勤務できたことは、貴重な経験になりました。

<仕事について>

大学修了後すぐに新卒者向けの就職活動をしました。やはりビザの観点から就職先を探すのは難しかったです。しかし、准看護師としての勤務経験を買われて、現在は正看護師として訪問看護の仕事をしており、チームリーダーを任されています。



↑先輩の話聞く学生たち



看護コースも進路の候補にあるので参加しました。コースの話から、シェアハウス、アルバイトや就職の話など、貴重なお話を先輩方から聞くことができました。ありがとうございました！(石川美陽)

第1回進学説明会

6月15日(水)に、第1回進学説明会を行い、オーストラリア国内での大学進学、TAFE NSW以外の教育機関への進学などについて概要を説明しました。



Vivid Sydney

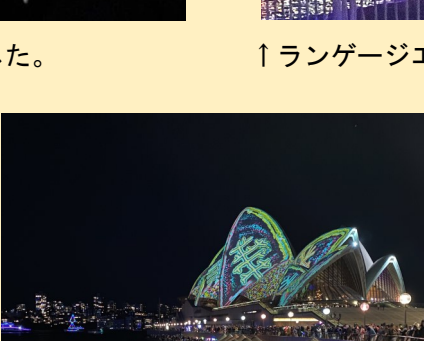
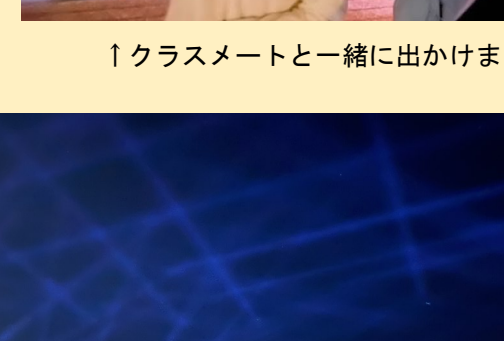
5月27日(金)から6月18日(土)までVivid Sydney 2022が開催されています。これは光と音とアイデアの祭典で、今年で12回目を迎えますが、2020年と2021年は新型コロナウイルスの影響で中止となったため、3年ぶりの開催となります。期間中はサーキュラーキーやダーリングハーバー、ロックスなどで光のアートやプロジェクトマッピングで彩られます。



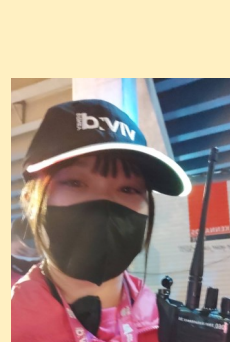
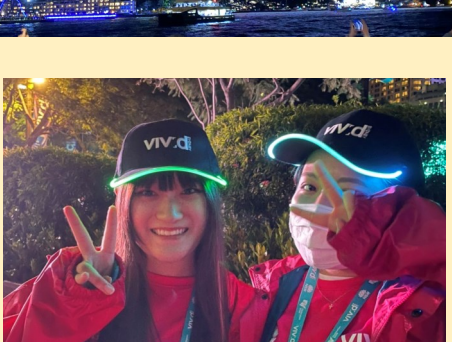
↑クラスメートと一緒に出かけました。



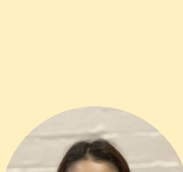
↑ランゲージエクスチェンジパートナーと出かけました。



ハーバーブリッジやオペラハウス、歴史的建造物のCustoms Houseなどは、特に人気の高いスポットです。



ボランティアスタッフとしてイベントに携わった学生たちもいました。



開催期間中に6日間、夕方5時~11時まで、道案内のボランティアとしてVivid Sydneyに携わりました。寒さや、6時間ずっと立ちっぱなしだったこと、とても辛かったですが、貴重な経験になったので、参加して良かったです。最初は来場者から何を質問されているか分からないこともありましたが、段々慣れて聞き取れるようになりました。ボランティアは、ペアを組んで2人からでないこともありますが、ラッキーなことにはペアになった人と友だちになることができ、友だちの輪が広がりました。(福田春奈)

15期生便り



今野 良吹
山形県立山形南高等学校
(山形県)

約1ヶ月半オーストラリアで生活をして、日本との違いに苦戦しながらも順応し、自分自身少しずつ変わったなと思うところが出てきました。留学をして良かったと感じているのは、日々の授業や休憩の際には他国の留学生と話している時間です。英語学校には、年齢関係なく様々な国からいろんな人が来ています。話の中で、文化や考え方の違いなどを感じ取れる瞬間がとても楽しく、留学に来ている実感がわかります。スペイン語や、モンゴル語を友だち

に教えてもらったり、英語以外の言語に触れられるのも英語学校ならではの良さです。何でもよいような1日でも得られる情報量が日本と比較にならないほど多いので、とても刺激的な毎日を過ごしています。今のところ辛いと感じたこともなく楽しく生活できており、これからも持ち前のポジティブ精神で乗り切っていこうと思います。時間に厳しかった自分が、シドニーに来てからは友だちが集合時間に遅れても何とも思わなくなり、少し寛容になった環境のため、日本とは違って、皆がいっしょに頑張ります。将来はアメリカのナイキで働きたいので、TAFEではビジネスを専攻し、夢に向けた勉強をコツコツとしていきます。この留学を通して自立できるように頑張ります。